

## 2019年度 事業報告

2019年度は、事務局体制の変更に加え後半のコロナ禍もあり、舞鶴国際交流協会設立以来の激変の年度となりました。先ずはそんな状況の中、当協会の趣旨にご賛同いただき暖かいサポートを続けて頂いた会員の皆様に感謝申し上げます。

当期の受託事業は8事業（詳細下記参照）で、前述のコロナ感染症の影響を受け「浦項市青少年交流訪問団受入れ」「ポーツマス市訪問青少年英語研修」「ポーツマス市青少年訪問団受入れ」の3事業が実施直前の延期となり、大変残念な思いで年度を終えました。

そんな中ではありましたが、「舞鶴市少年使節団大連市派遣事業」では、舞鶴の子供達12名が中国/大連市を訪れ、当地の学校交流を楽しみ、ホームステイを経験し、市内視察をして異文化との交流を存分に楽しんで来ました。

また、「ナホトカ市青少年交流訪問団受入れ事業」では、ナホトカの青少年舞踊団「スタリューシユカ」総勢14名をお迎えし、「日星高校チアリーディング部」「海のまいづる吹奏楽団」「おとのもり学園」の「まいづるっ子」達と交流を持つ機会を提供し、非常に楽しい、有意義な時間を共有できました。

一方、舞鶴市民の間で既に定着した「ポーツマス市訪問青少年英語研修事業」では、応募者23名中8名の中・高生が書類選考・面接をくぐり抜け、出発に向けて現地での交流会に向けた「”素敵な舞鶴”紹介」をワクワクしながら準備してきましたがコロナ禍の為、残念ながら延期となってしまいました。

「多文化共生社会推進事業」は、2年目を迎えた「MIAにほんご教室」運営に注力し、受講生も着実に増えてきました。多数の生徒さんを相手にボランティアの先生方は、四苦八苦しながら前向きに取り込んで頂いています。

また、文化庁の助成事業として昨年より3年計画で始まった「日本語支援ボランティア養成講座」「スキルアップ講座」「講演会」等を実施しボランティアの方々のスキルアップを図り、その成果も着実に出てきています。受講生には、日本語学習のみならず、日本文化をよりよく知ってもらうために、浴衣着付け体験、七夕、ちゃった祭と盆踊りまいてフェスタでの「インターナショナル屋台村」への参加等々、実体験を楽しめる機会を提供することが出来ました。

自主事業では英会話教室、中国語講座、外国料理教室の開催、ホームステイの受け入れ等々を展開しました。ご協力頂いた会員の方々に改めて感謝します。

財務状況は、当初予定されていた受託事業のうち、年度後半に予定されていた3事業がコロナ禍の影響を受け延期された為、大きな収入源である受託事業収入は755万円、予算比76%と大幅に下回りました。

また、自主事業についても期半ばよりの英会話講座生徒数減（約30名）等により149万円（予算比43%）と大幅に落ち込み総収入額は935万円（予算比68%、前年比82%）となりました。

収入減に対応すべく一般管理費の削減に努めましたが（234万円：予算比89%、前年比94%）、収入減をカバー出来ず、当期収支は63万円の赤字となりました。加えて、前期2018年度の未処理費用約40万円を特別損として計上、当期最終収支は1,039,288円の赤字となり、次年度への繰越金は1,108,261円となりました。

2019年度実施事業(2019年4月1日～2020年3月31日)

主務 部会	事業名	事業内容	実施期間	実施状況
受 託 事 業	舞鶴市少年使節団 大連市派遣事業	当年は使節団を派遣する。舞鶴市の児童の国際理解を促進し、日中両国の友好を担う国際感覚豊かな人材育成を図る。	7月	舞鶴市少年使節団員:12名 団長、随員: 4名 現地では、学校交流、ホームステイ、市内視察を実施
	ナホトカ市青少年交流訪問団 受入れ事業	ナホトカ市より青少年文化交流団を受入れ、文化の理解促進を図ると共に、舞鶴市の児童の国際理解を促進し、将来の両市の友好を担う国際感覚豊かな人材の育成を図る。	10月	舞踊団「スタリユーシユカ」(総勢14名)を迎え、「日星高校チャリーディング部」「海のまいつる吹奏楽団」「おとのもり学園」の28名の文化交流を実施。
	浦項市青少年交流訪問団 受入れ事業	浦項市より小・中学生少年使節団を受入れ文化の理解促進を図ると共に、舞鶴市の児童の国際理解を促進し、将来の両市の友好を担う国際感覚豊かな人材の育成を図る。	2月	21名来舞決定、11家庭で受入準備万端であったが、コロナウイルス感染症拡大の為、中止。
	ポーツマス市訪問青少年 英語研修事業	市内中・高生を英国での英語研修に派遣。ホームステイ経験によって、英語力の向上と共に、国際的視野を持った若い世代の育成を図る。	3月	23名の応募者中、8名の中・高校生が選出される。コロナウイルス感染症拡大の為、延期。
	ポーツマス市青少年訪問団 受入れ事業	上記研修に際する、現地での交流校(メイフィールド校)の選抜生徒の舞鶴市訪問を受け入れる。研修参加者宅へのホームビジットを通じ、交流の活性化を図る。	2月	6名来舞決定、受け入れ準備万端であったが、コロナウイルス感染症拡大の為に来日直前に延期決定。
	多文化共生社会推進事業	舞鶴在住外国人への生活支援策の一つとして展開の「にほんご教室」(京都府及び関係機関と連携)も2年目を迎え軌道載せ完了。 継続展開し、楽しく充実した共生社会形成推進に尽力する。	通年	ボランティア養成講座:5回 にほんご教室:年間34回 スキルアップ講座:年間6回 ちゃった祭り、まいてフェスタに参加。
	中国残留邦人に対する支援	舞鶴在住の中国残留邦人への中国語による生活相談・支援。家庭での市職員との会話や病院での医師との同時通訳を行う。	通年	定期的に訪問し、生活に関する相談、家庭や病院での通訳等に当たる。
	児童・生徒日本語支援	市内小学校、中学校に在籍する日本語が十分に理解できない外国籍児童・生徒に対し、本人・保護者・学校の要請に対応し、その指導、援助に当たる。	通年	小学生3名、中学生2名の外国籍児童生徒に英語を使いながら、日本語の学習指導を実施。

主務 部会	事業名	事業内容	実施期間	実施状況
文化 交 流 部 会	外国料理教室	フィリピン出身・舞鶴在住の講師による「フィリピン料理」開催。試食後、フィリピンの文化、歴史、料理等について話を聞く。	12月	25名が参加し、フィリピン料理を作り、楽しくフィリピン文化に親しむ。
	舞高専留学生との交流会	日本で生活する外国留学生と交流を行うことにより、相互の友好と信頼、理解を深める。	7月	留学生4名と日本のお化け屋敷体験。浴衣を着て書道、七夕、お琴等、日本文化を楽しむ。
自 主 事 業	ホストファミリーの拡大促進	○現ホストファミリーの継続確認と新規家族依頼。 ○以下のホームステイを予定するも延期となる。 ①浦項市青少年交流団21名:10家族(2月) ②メイフィールド校6名:5家族(2月)	通年	2019年度のホストファミリー名簿更新。 2カ国交流団のホストファミリー受入確定(延期)。
	英会話教室	「英会話教室Ⅰ」の継続。9月より「初級英会話教室」を開講する。	通年	英会話教室(水) 11名受講 初級英会話教室(金)9名受講
	中国語講座	初級中国語講座は、舞鶴市国際交流員が中国語だけではなく、中国文化も交えて指導。 上級・中級クラスは、舞鶴在住・中国人が担当。	通年	3クラス、10名の市民が受講
	通訳・翻訳	5カ国語(英語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語)による通訳・翻訳業務を提供。	通年	クルーズ船内での中国語通訳依頼:2回、日本語スピーチの中国語翻訳依頼:1件を実施。
生活 相 談	在舞外国人生活相談・支援	在舞鶴外国人の生活相談や支援	通年	「にほんご教室」を通して、受講者の生活相談に応じた。